Volume 175（2022 年 1 月）

謹賀新年

JRRN Newsletter

日本河川・流域再生ネットワーク http://www.a-rr.net/jp/ https://www.facebook.com/JapanRRN

「日本河川・流域再生ネットワーク（JRRN）」は、河川再生について共に考え、次の行動へ後押しする未来志向の情報を交換・共有することを通じ、各地域に相応しい河川再生の技術や仕組みづくりの発展に寄与することを目的に活動する団体です。またアジア河川・流域再生ネットワーク(ARRN)の日本窓口として、日本の優れた知見をアジアに向け発信し、海外の素晴らしい取組みを国内に還元する役割を担います。(Since 2006)

目 次

Pages
- JRRN 事務局からのお知らせ…… 1
- 「多自然川づくりサポートセンター」からのお知らせ…… 3
- 会議・イベント案内 ＆ 冊子等の紹介…… 4

JRRN 事務局からのお知らせ（1） *JRRN Activity Report*

年始のご挨拶

2022 年、新年明けましておめでとうございます。

皆様には日頃より JRRN のネットワーク活動にご協力いただきまして大変ありがとうございます。

今年は本格的に「流域治水」に取り組む年にしたいと思います。言葉としては古く、全く新しい概念ではありませんが、近代土木工学として洪水を河川に閉じ込めようと考えてきた流れからは、一線を画する取り組みです。河道に閉じ込めてきた洪水を氾濫流域をも含め、全体でとらえて安全性を確保する考え方です。温故知新。このような取り組みには歴史的に「信玄堤」「水塚、水屋」「水田遊水池」など多くの「洪水域に住む作法」として伝わってきました。また、流域内での上流地域と下流地域の結びつきも今以上に強い結びつきがありました。その一例が関東の荒川です。

荒川の最上流源流点は標高 2,475m の甲武信ヶ岳です。甲州・笛吹川・富士川、武州・荒川、信州・千曲川・信濃川の 3 つの国と 3 大河川の分水嶺です。その武州の最上流に「三峯神社」があります。霊験あらたかな白い「気」のお守りで有名な神社です。この神社の参道にはたくさんの三峰講の寄進を記録した石碑が建立されています。これらの石碑に刻まれた文字を読んでいくと「日本橋講」「神田講」「築地講」「木場講」「谷中講」「品川講」「堅川講」「葛西講」「宇田川講」など、荒川の最下流の江戸の町の名が連なっています。同時に江戸市中には駒込、入谷、浅草、品川大井などに三峰神社が祭られています。なぜ、荒川の最上流と最下流まで 170 kmも離れた地域の結びつきがこれほどまでに強いのでしょうか。三峰神社は火除けの神様です。一方江戸は「火事と喧嘩は江戸の華」ともいうような火事の多い地域でした。そのために「火事と火防」という信仰心はもちろんなのですが、それ以上に人々が動いた根本的動機が「地域経済の結びつき」です。

火事になると必要になるのか、燃えてしまった家屋を再建する材木です。その木材をどこに頼ったかというと荒川の最上流の秩父の森なのです。最上流の森林で伐採した木材を運び出すには急峻な山道を下らなければなりません。やはり大きな材木を運ぶには川を使わなければなりませんが、荒川は水量の少ない川です。そこで工夫されたのが「鉄砲堰」です。山間地域で川の水を大量にせき止め、この水を一度に開放し鉄砲水を起こすことで荒川本流まで材木を押し流したのです。本流では筏を組み江戸木場まで運びました。木場ではこの材木をいつでも供給できるように製材、保管していたのです。この上下流それぞれの地域経済を支え結び付けていたのが荒川なのです。

また、主に中流域の礫河原地帯では河川内樹木が繁茂してしまいます。しかしこれも人々の営みの中で河川敷で育った樹木は薪炭として利用されてきました。河川敷を入会地として地域の共同管理地として収穫される魚介類や樹木を分け合ったのです。こうやって河川敷樹木が繁茂して洪水を起こすことを防ぎ、時には根起こし跋根することで底床部の石が荒らされることにより、底生生物の環境も維持されてきたのです。

この様に河川を維持する技術は私達の生活に根差した作法として継承されてきました。小さな自然再生の活動を含め河川再生に向けた取り組みは、川と私達の付き合いを見つめ直すことです。そして私達の地域での活動が上下流地域の相互の生活を認め合うことになる、それが「流域治水」として大きな成果に繋がると信じています。

これからも ＪＲＲＮの情報ネットワークはさらに皆様と強固に繋がり、地域から国レベルの方向性へ、力強い活動をしていきたいと思います。

今年も各地で大いにご活躍ください。どうぞよろしくお願いいたします。

***JRRN* 代表理事　土屋信行**

JRRN 事務局からのお知らせ（2） *JRRN Activity Report*

写真で振り返る 2021 年の JRRN 活動

第 13 回淡海の川づくりフォーラム発表 <2021.2.7@ｵﾝﾗｲﾝ>

水辺の小さな自然再生について発表し、滋賀県内の川仲間との交流を深めました。

http://jp.a-rr.net/jp/activity/public/742

2020 年度現地研修会報告書公開 <2021.3@全国>

全 3 回の研修成果を公開しました。

http://jp.a-rr.net/jp/activity/publication/

令和 3 年度第 1 回 JRRN 理事会 <2021.6.17@東京>

本年も web 会議を利用し、全理事及び全事務局員が参加し開催しました。

http://jp.a-rr.net/jp/news/info/1141.html

Water Seoul 2021 参加 <2021.10.7-8 ｵﾝﾗｲﾝ>

東京と大阪より水防災対策と水辺の賑わい創出に関わる事例を発表しました。

http://jp.a-rr.net/jp/activity/public/756

第 15 回 ARRN 運営会議参加 <2021.11.16 ｵﾝﾗｲﾝ>

日中韓 RRN メンバーで ARRN 組織体制や活動計画について審議が行われました。

http://jp.a-rr.net/jp/news/info/1253.html

第 17 回 ARRN 国際フォーラム参加 <2021.11.16 ｵﾝﾗｲﾝ>

『第 17 回 ARRN 水辺・流域再生にかかわる国際フォーラム』をオンライン開催しました。

http://jp.a-rr.net/jp/activity/public/785

第 12 回小さな自然再生研修会 <2021.11.14@東京>

「自然観察から都市河川でできることを考えよう」をテーマに東京都中野区・善福寺川にて開催しました。

http://jp.a-rr.net/jp/activity/public/762

第 13 回小さな自然再生研修会 <2021.11.21@滋賀>

「内湖の保全と再生を考える」をテーマに滋賀県守山市・野洲川流域大川にて開催しました。

http://jp.a-rr.net/jp/activity/public/772

第 14 回小さな自然再生研修会 <2021.11.28@釧路>

「釧路川支川の魚類生息環境を再生する」をテーマに北海道釧路市・釧路川流域にて開催しました。

http://jp.a-rr.net/jp/activity/public/792

「多自然川づくりサポートセンター」からのお知らせ　*Nature-oriented River Management Support Center*

※『多自然川づくりサポートセンター』は、多自然川づくりについての技術的な支援、市民との連携の強化、気軽な相談窓口、情報の共有等を担い、（公財）リバーフロント研究所が事務局を務めています。JRRN は多自然川づくりサポートセンターと連携して川づくりの推進に取り組んでおります。

2021 年に開催しました多自然川づくり、自然再生、生態系ネットワーク等に関わる WEB セミナーの講演動画を配信中です。

多自然川づくりサポートセンター事務局

流域の生態系ネットワークの形成に向けた WEB セミナー ～「河川事業における生態系保全に関する評価の手引き（実務者向け）（案）」解説～

◆2021 年 12 月 9 日（木）開催

◆URL: http://www.rfc.or.jp/ivent2021_seitaikeinw.html

第 18 回「川の自然再生」セミナー テーマ：自然と共生するＤＸ ～河川・流域環境を把握する最新技術～

◆2021 年 12 月 2 日（木）開催

◆URL: http://www.rfc.or.jp/ivent2021_shizensaisei.html

大河川における多自然川づくり　WEB セミナー

◆第 1 回　2021 年 6 月 17 日（木）開催： http://www.rfc.or.jp/ivent2021_daikasen1.html
◆第 2 回　2021 年 9 月 2 日（木）開催： http://www.rfc.or.jp/ivent2021_daikasen2.html
◆第 3 回　2021 年 10 月 21 日（木）開催： http://www.rfc.or.jp/ivent2021_daikasen3.html
◆第 4 回　2021 年 11 月 12 日（金）開催： http://www.rfc.or.jp/ivent2021_daikasen4.html

会議・イベント案内（2022 年 1 月以降） *Event Information*

（国内の河川・流域再生に関する主なイベント）

■第６回水辺からはじまる生態系ネットワーク全国フォーラム
○日時：2022 年 1 月 20 日（木） 14：00～15：30
○主催：国土交通省
○場所： オンライン（Zoom ウェビナー）
http://jp.a-rr.net/jp/news/event/3292.html

■とくしま生物多様性活動推進フォーラム「生態系を活用した防災・減災と生物多様性 ～流域治水を進めるための視点～」
○日時：2022 年 1 月 22 日（土） 13:00～16:30
○主催：徳島県
○場所： 徳島大学 地域連携大ホール／オンライン（Zoom）
http://jp.a-rr.net/jp/news/event/3296.html

■札幌ワイルドサーモンプロジェクト市民フォーラム 2022
○日時：2022 年 1 月 29 日（土）14:00～16:15
○主催：札幌ワイルドサーモンプロジェクト
○場所： 札幌エルプラザ／オンライン(Zoom ウェビナー)
http://jp.a-rr.net/jp/news/event/3290.html

■第十七回「外来魚情報交換会」
○日時：2022 年 2 月 5 日（土）～6 日（日）
○主催：琵琶湖を戻す会
○場所： キラリエ草津（草津市立市民総合交流センター） 5 階（滋賀県草津市）
http://jp.a-rr.net/jp/news/event/3279.html

■令和３年度 河川教育研究交流会
○日時：2022 年 2 月 6 日（日） 13:00～
○主催：公益財団法人河川財団
○場所： TKP ガーデンシティ御茶ノ水／オンライン
http://jp.a-rr.net/jp/news/event/3298.html

■第 14 回淡海の川づくりフォーラム
○日時：2022 年 2 月 6 日（日） 9:45～16:00
○主催：第 14 回淡海の川づくりフォーラム実行委員会
○場所： 滋賀県危機管理センター／オンライン（Zoom）
http://jp.a-rr.net/jp/news/event/3294.html

冊子等の紹介 *Publications*

できることからはじめよう 水辺の小さな自然再生事例集 第２集

市民が河川や水路の管理者と連携して日曜大工的に取り組む「小さな自然再生」の事例集の続編（第２集）の印刷製本版を普及中です。

本事例集は、水辺の小さな自然再生に取り組む全国の担い手の皆さまに、活動の経緯や目的、実施体制、工法の説明や工夫した点、使用材料や工具、施工後の維持管理や利活用の工夫、活動の効果やキーパーソンなどを執筆頂いたものです。

- ●編集： 「小さな自然再生」研究会
- ●企画・構成： 吉冨友恭 東京学芸大学環境教育センター
- ●デザイン： 本間由佳 明星大学 デザイン学部 デザイン学科
- ●発行： 日本河川・流域再生ネットワーク（JRRN）
- ●発行年月： 2020 年 3 月

送付申込受付中 → **http://jp.a-rr.net/jp/news/info/1149.html**

本事例集の印刷製本版の送付をご希望の方は、**送料（250 円）のみご負担頂いた上で**、2 冊を上限に無料でご提供致します。詳細は上記 URL をご覧ください。

上記冊子の入手方法 ※PDF 版はこちらから： http://jp.a-rr.net/jp/activity/publication/

JRRN 会員募集中　*JRRN membership*

■ JRRN の登録資格（団体･個人）

JRRN への登録は、団体･個人を問わず**無料**です。市民団体、行政機関、民間企業、研究者、個人等、所属団体や機関を問わず、河川再生に携わる皆様のご参加を歓迎いたします。

■ 会員の特典

会員登録をされた方々へ様々な｢会員特典｣をご用意しています。

(1) 国内外の河川再生に関するニュースを集約した｢JRRN ニュースメール｣が週 1 回メール配信されます。

(2) 国内外のセミナー、ワークショップ等の開催情報が入手できます。また JRRN 主催行事に優先的に参加することが出来ます。

(3) 必要に応じた国内外の河川再生事例等の情報収集の支援を受けられます。

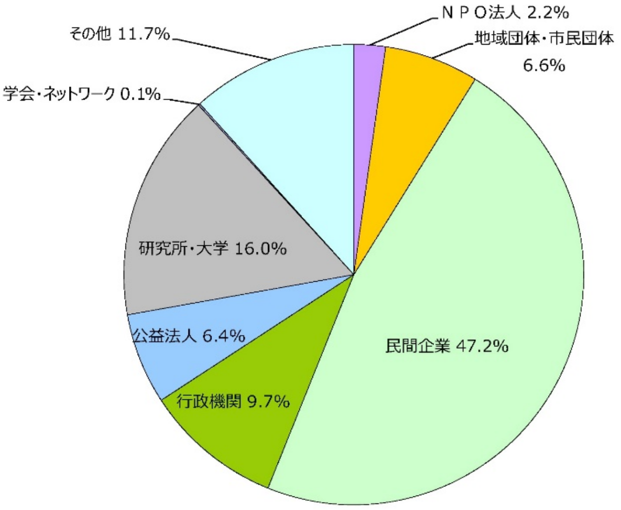
(4) JRRN を通じて、河川再生に関する技術情報やイベント開催案内等を国内外に発信できます。

(5) 韓国、中国をはじめとする、ARRN 加盟国内の河川再生関連ネットワークと人的交流の橋渡しの支援を受けられます。

■ 会員登録方法

詳細はホームページをご覧下さい。

http://www.a-rr.net/jp/member/registration.html



2021 年 12 月 31 日時点の個人会員の所属構成
（個人会員数：826 名、団体会員数：62 団体）
※12 月の新規入会数： 個人会員 2, 団体会員 0

JRRN 会員特典一覧表（団体会員・個人会員）

提供サービス	JRRN 個人会員	JRRN 団体会員	非会員（一般）
1 ホームページへのアクセス及び記事へのコメント入力 ※1	◎	◎	◎
2 ホームページ｢イベント情報｣欄でのイベント掲載 ※2	◎	◎	◎
3 ニュースメール（週1回）の配信 ※3	◎	◎	×
4 Newsletter（毎月）及び年次報告書（年1回）等の発刊案内メールの配信 ※3	◎	◎	×
5 JRRN/ARRN主催行事の優先案内･優先参加 ※4	◎	◎	×
6 国内外の河川再生関連情報･技術収集や専門家･組織紹介の支援 ※5	◎	◎	×
7 ホームページ｢会員からのお知らせ｣内及びニュースメール｢会員からのご案内｣欄で団体が関わる行事･出版物･製品等の案内の掲載 ※6	△※7	◎	×
8 ホームページ｢会員登録状況｣｢国内団体｣内及び年次報告書内で団体名の掲載	×	◎	×
9 ARRN活動に関連する英語ニュール（ARRN Newsletter等）の不定期配信 ※8	×	◎	×
10 JRRN及びARRNが保有する国内外専門家･団体等との連携等の支援 ※9	×	◎	×

会員特典詳細はウェブサイト参照： http://www.a-rr.net/jp/member/benefit.html

【お気軽にお問い合わせください】

日本河川･流域再生ネットワーク(JRRN)　事務局
〒104-0033 東京都中央区新川 1 丁目 17 番 24 号 NMF 茅場町ビル 7 階 （公財）リバーフロント研究所 内
Tel:03-6228-3860　Fax:03-3523-0640　E-mail: info@a-rr.net
URL: http://www.a-rr.net/jp/　Facebook: https://www.facebook.com/JapanRRN